



平成22年2月9日

各位

会社名 特種東海ホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 三澤清利  
 (コード番号 3708 東証第一部)  
 お問い合わせ先 執行役員財務・IR室長 関根 常夫  
 〒03(3281)8581

平成22年3月期第3四半期の有価証券評価損に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価又は実質価額が著しく下落しているものについて、平成22年3月期第3四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせします。

なお、四半期会計期間末における有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替え方式を採用しているため、平成22年3月期におきましては、期末日の時価等により有価証券評価損の計上額が変動する場合があります。

記

1. 平成22年3月期第3四半期における有価証券評価損

	連結
(A) 平成22年3月期第3四半期会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)の有価証券評価損の総額(=イーロ)	545百万円
(イ) 平成22年3月期第3四半期累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)の有価証券評価損の総額	556百万円
(ロ) 直前四半期(平成22年3月期第2四半期)累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)の有価証券評価損の総額	10百万円

※ 四半期における有価証券の評価方法は洗替え方式を採用しております。

※ 当社の決算期末は3月31日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	連結
(B) 平成21年3月期末の純資産額	58,431百万円
(A/B×100)	0.9%
(イ/B×100)	1.0%
(C) 最近5事業年度の経常利益の平均額	1,287百万円
(A/C×100)	42.4%
(イ/C×100)	43.2%
(D) 最近5事業年度の当期純利益の平均額	601百万円
(A/D×100)	90.7%
(イ/D×100)	92.5%

2. 今後の見通し

上記の有価証券評価損を平成22年3月期第3四半期において、特別損失に計上しております。なお、平成22年3月期の業績予想につきましては、本日の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以上